

2020.06.10.

誤

正

p 4	上段	(金沢との出会い) 2行目	通ったようだ	通っていないようだ
p 4	下段	4行目 明治十七年		明治十一年
p 5	下段	(伊藤国葬) 9行目 横浜港		横須賀港
p 6	上段	(伊藤が訪れたころの金沢) 12行目	大正九年(1920)	大正十年(1921)
p 7	中段	二 絵葉書海岸防備 昭和三〇年代		明治四四年
p 9	(2カ所) 七	NOUKENDO		NOKENDO
p 12	上中段	一三 夏島及烏帽子岩		夏島及烏帽子島
p 18	上段	三五「憲法草創之地」		「憲法草創之处」
p 26	中段	五五 金澤御別荘隣接池交換ニ		隣接地
p 36	下段	八一 金子賢太郎		金子堅太郎
p 39	下段	八八 鈴木初期へ		鈴木書記へ
p 41	上段	九〇 (お詫び 書状写真に8行分欠如があります。11行目と12行目の間)		
p 42	上段	九三 (追加)		松本ナミ家文書
p 43	コラム	3行目 金子賢太郎		金子堅太郎
p 53	中段	一一五 金子賢太郎		金子賢次郎
	下段	一一四 金子賢太郎		金子賢次郎
p 56	上段	二 絵葉書海岸防備 昭和三〇年代		明治四四年
		開港一〇〇年を		開港五〇年を
		五 (ルビ) 東荷 につか		(ルビ) っかり
	中段	七 NOUKENDO		NOKENDO
		烏帽子島		烏帽子岩
		一一 発効		発行
	下段	一三 夏島及烏帽子岩		夏島及烏帽子島
p 57	上段	一八 蛇皮製の鞆		銭入
	中段	二〇「斯書、伊藤公憲法 金沢文庫		伊藤侯 金澤文庫
p 58	上段	三五「憲法草創之地」		「憲法草創之处」
p 59	中段	五四 伊藤自身が招待状を書いている。		伊藤自身が招待状を書いている。
				(削除 秘書官の書と思える)
p 60	中段	六九 児玉英雄		児玉秀雄
p 61	中段	七九 次男		孫
	中段	八〇 漢詩に～漢詩。(一文)		漢詩や書道に優れていた長三洲が有名な蘇軾の「赤壁賦」から山間の月を愛でた部分を引用した書。
	中段	八一 金子賢太郎		金子堅太郎
p 62	上段	九三 (追加)		松本ナミ家文書
		金子伯爵		金子子爵 (この時点では子爵)
p 63	下段	一一四 金子賢太郎		金子賢次郎
	下段	一一五 「忘備録」 金子賢太郎		「備忘録」 金子賢次郎